

THE DAILY JESUS NEWS

An ATJ Ministries Publication by John Wright

デイリージーザスニュース #011

イエスの宣教準備の30年

イエスの誕生と成熟への成長

マリアの賛美の詩篇：「マニフィカト」

ルカ1.46-56

=====

46 マリアは賛美の祈りを捧げました...

「私の魂は主を誇りとし、私の霊は私の救い主である神を喜びました。

48 主は、そのはしのための辱めを慈しみをもって顧みてくださった。

見よ！今から、すべての世代の人々が私を深く祝福された者と呼ぶだろう。

49 これは、全能の神がわたしのために大いなることをしてくださったからです。その御名は聖なるものです。

50 彼の慈悲は、代々彼を恐れる人々に及ぶ。

51 彼は御腕をもって力あるわざをなされた。

神は、自分の心の内なる思いを高ぶらせる者たちを追い散らされました。

52 主は君主たちを王座から引きずり下ろし、卑しい者を高められた。

53 主は飢えた者を良い物で満たし、富める者を空腹のまま追い払われる。

54 主はご自分のしもべイスラエルを助け、その慈しみを心に留めておられる。

55 アブラハムとその子孫に永遠に与えられます。それは私たちの先祖に約束されたとおりです。」

56 マリアはエリサベツと三か月ほど一緒に暮らしてから、自分の家に帰りました。

=====

注: 私たちは「混合テキスト」の原典福音書を次のように上付き文字で識別します: マタイ = ^{MT}、マーク = ^M、ルーク = ^L、ジョン = ^J、使徒行伝 = ^A。この「上付きID」は引用文の冒頭に挿入され、別の上付き文字が現れるまでその聖書の書を識別します。さらに、**赤い斜体はイエスの言葉を示します。**

コンテキストダイジェスト

位置	エリザベスの家、ユダヤの丘陵地帯
時間	イエス誕生の9か月前
イエスの生涯	イエスの宣教準備の30年
	イエスの誕生と成熟への成長
タイトル	マリアの賛美の詩篇「マニフィカト」

DJN #009 で、マリアが深い信仰を持つ若い女性だったことを見ました。今日の朗読は、マリアの謙遜さの深さと広がりを示しています。イエスは歴史上の他のどの赤ちゃんとも違います。なぜなら、イエスの代理母は処女であり、聖書の一部を執筆したからです。マリアは、信仰の祈りと愛ある奉仕の謙遜さで家を満たしていたため、救世主にとって完璧な環境でイエスを育てることができました。

マリアの信仰は、最も深い謙虚さと、神の偉大さに対する高尚で崇高な見解に根ざしていました。彼女は、神が彼女の屈辱」」のゆえに彼女を好んだと証言した。彼女は、まだ妊娠しているのに、恥辱と人前での恥辱を受け入れる覚悟があった。彼女は卑しい身分であったため、婚約中の処女であったの心臓 最も深い意味で。彼女は 神の道を個人的に体験した 抵抗する 神は高慢な者を愛するが、謙遜な者を慈しみ深い愛で包みます。彼女が賛美の詩篇でこのことをどのように表現しているかに注目してください。

高慢な者に対しては...神は」彼らを追い散らし、彼ら（王子たち）を王座から追い出し、金持ち（自己満足者）を空っぽのまま追い払う。」

謙虚な者には...神は」彼らを引き上げる」喜びにあふれ、飢えた人々に 神は良いことをし、その僕に力強い助けを与えてくださいます」（マリア、イスラエル、そして神を畏れるすべての人々）。

初め（50節）から終わり（54節）まで、高慢な者を謙虚にし、謙遜な者を高めるという神の働きは、神を恐れる者たちに届く神の慈悲の表現であり、神は私たちを愛しておられるので、常に慈悲の心を持っています。この慈悲は、私たちに対する神の恵み深い好意。です 私たち、マリアは喜びにあふれ、神に栄光を捧げながら絶えず自慢していました。

マリアは、聖書に基づいた豊かな知恵を持った若い女性（おそらく 14 歳くらい）でした。彼女の詩篇の言葉のほとんどすべては、旧約聖書のさまざまな詩篇から引用されたフレーズです。彼女は神の言葉に従って祈り、賛美する方法を知っていました。

応用：

神は高慢な者を謙虚にさせることで彼らを拒絶し、同様に謙虚な者を高く評価し、神の名を讃える方法で神に仕える力を与えます。マリアはその素晴らしい例であり、もちろんイエスはすべての例の中で最も偉大な例です。

プライドは私たちの罪深い本性の中心にあります。私たちはこの地上で生きている限り、プライドと戦い続けることになります。幸いなのは、神が慈悲深くも私たちのプライドに対処するために率先して行動してくださるということです。私たちはただ神の働きに心を開き、傲慢な考えを捨て去り、神のみに属する王座から王としての自分を追い出し、自分自身を空っぽにして神への渴望を生み出すという神の戦略に身を委ねる必要があるのです。

これらは痛みを伴う慈悲の行為ですが、最も満足のいく充実感、つまり神自身の愛情深い存在と、高揚させ力を与える恵みをもたらします。

最後に正直に話したのはいつですか？ あなたのプライド/謙虚さ指数を見てみませんか？

さらに重要なのは、最近、神はどのようにあなたのプライドに語りかけ、働きかけてこられたかということです。

今日、あなたはプライドのどの側面を告白し、神に従う必要がありますか？